

平成28年度国立山口徳地青少年自然の家 教育事業 「学び合う集団づくり」セミナー

平成29年2月4日（土）～5日（日）



講師 菊池省三氏
(きくちしょうぞう)
小学校教師として「褒め言葉のシャワー」など様々な実践によりコミュニケーション力あふれる教育をめざしてきた。その経験をもとに教員同士の学びの場「菊池道場」を主宰。山口大学卒業。



講師 門田卓史氏
(もんでんたかし)
(株)エデュ・アクティベーターズ代表 企業や大学、スポーツチームなど様々な対象に、成長を促すチームビルディングやアクティブ・ラーニングプログラムを提供している。広島市在住。

- 【ねらい】** 学校において、児童・生徒集団を自ら主体的、能動的に成長を図ろうとする「学び合う集団」に育てるための理念や手法を学ぶことにより、指導者としての資質・能力の向上を図る。
【参加者】 小・中・高等学校の教員、本テーマに興味・関心がある方 27名

【プログラムの内容】

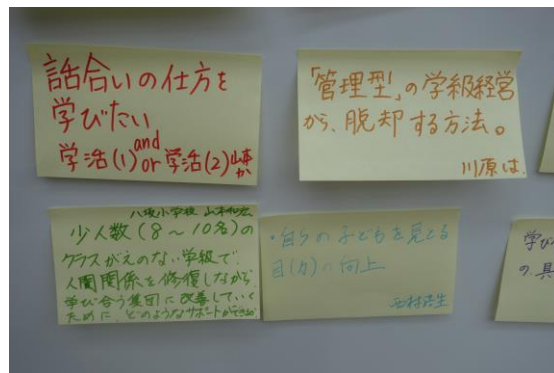
- 2月4日（土） 「徳地アドベンチャープログラム」の体験と理念、菊池実践の紹介Ⅰ、情報交換会
2月5日（日） 菊池実践の紹介Ⅱ、学んだことの整理と質疑応答、2日間のまとめ

【事業の様子】

2月4日（土）



門田氏によるTAP体験



参加者が学んで帰りたいこと



菊池氏による菊池実践の紹介

2月5日（日）



門田氏による質疑・応答



菊池氏による質疑・応答



門田氏によるTAPの理念の講義



菊池氏による模擬授業と学び合う集団づくり



閉会行事後に記念撮影

【参加者の声】

○現場でできていなかったことを再確認できる内容だった。 ○子供同士をつなげる手法と理念を学ぶことができた。 ○事業全体が「学び合う集団」になっていて刺激を受けた。
○TAPやPAなど見様見真似だったことが理論を学んでよく理解できた。 ○菊池実践を聞いて子供の成長の可能性は無限ということが分かった。 ○超一流のプロから学べて本当に貴重な時間だった。 ○実践したことを持ち寄り、それを題材に学び合う場をつくってほしい。

【成果】

○参加者が「学び合う集団づくり」に対する意欲を高めることができた。 ○全体での研修以外で、参加者が講師と個々に対話することで参加者の満足度を高めることができた。
○TAPと菊池実践の理論が一致することを理解していただくことができた。

【課題】

○参加者数が目標(40名)に達しなかった。 ○参加者の理解のプロセスに応じたディスカッションや講師からの指導・助言をタイムリーに入れるとよかった。

【今後の展望】

○TAPの理念に通じる様々な教育実践者との事業を継続して実施し、TAPの理念がさらに幅広く活用されるようにしたい。